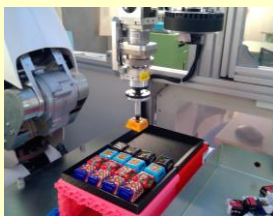


【愛知県＋ロボットSier企業＋工業高校】

ロボットシステムインテグレータ(ロボットSier)企業が学校のパートナーとなり、生徒が継続的に技術サポートを受けながら課題の解決方法を探究

大会名: 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会
主 催: 愛知県経済産業局
特別協力: FA・ロボットシステムインテグレータ協会
参加校: 県内外工業高校10校
サポーター企業: ロボットSier企業10社

①課題の提示(抜粋)



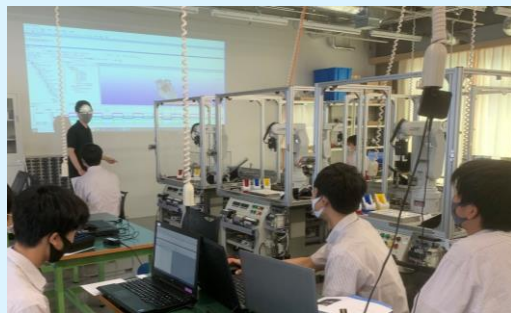
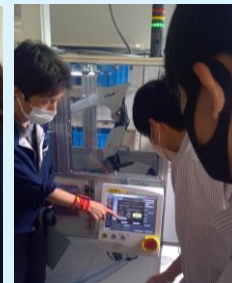
お菓子の箱詰め



ボールペンの組立

②サポーター企業による 各参加校での技術指導 (4～12月の期間で継続的に実施)

ロボット操作技術の修得



課題名	課題内容	評価項目	評価結果
課題1 お菓子の箱詰め	ロボットの動作を制御し、お菓子の箱詰めを行う。	動作の正確性 動作の効率性 動作の安定性	85 90 80
課題2 ボールペンの組立	ロボットの動作を制御し、ボールペンの組立を行う。	動作の正確性 動作の効率性 動作の安定性	75 80 70

【リスクアセスメントも学習】
生徒の提案に対し企業技術者が評価しコメント

③研究成果披露



デモンストレーション審査



プレゼンテーション審査

産学官が役割を果たしながら一体となり人材育成に取り組む

【官】県による競技会の企画・実施、産業界への働きかけ

→参加校・サポーター企業の募集、研修会の実施、学校と企業のコミュニケーション促進の取組等を企画・実施

【産】学校1校に対し1企業が競技課題のサポーターとして協力

基礎課題の講習実施、競技会直前までの技術サポート →生徒及び教員への実践的な技術指導を実施

【学】参加生徒全員が基礎的な知識とロボット操作技術に関する講習会を受講した後、ものづくりの自動化を行う

システムの構築(競技課題)に取り組み、競技会にて成果を披露

→ロボット分野への興味・関心の高まり、知識・技術の向上